



河村道子と申します。よろしく
 お願いします。

今回私たち図書委員は、雑誌の「ダ・ヴィンチ」などでライターとして活躍されている河村さんにインタビューさせていただいた。

読書の葉

No.151

田園調布学園
 中等部・高等部
 図書委員会

目次

ライター 河村道子さんに聞く	P 1
GUESS WHO!	P 4
トトに会いにきて	P 8
全人類にススメたい!! 風の谷のナウシカ編	P 10
文芸部コラボ企画 小説の書き方プチ講座	P 12
不思議の国のルイス・キャロル	P 14
激推し本!	P 16

なんとこの学校で働いている印刷事務の小泉陽子さんの、高校時代の同級生だそう。一度は聞いたことのある職業だが、そもそも「ライター」とはどのような仕事なのだろうか。

主に携わっているのは、作家さんや映画に出演する俳優さん、声優さんへのインタビュー、その内容を記事に書くこと。書評や文庫のあとがき、映画のパンフレットなどの執筆もしています。

三年前に「読書の葉」でインタビューさせていただいた、三上延さんの『ピブリア古書堂の事件手帖』が映画化された際のパンフレットの制作にも関わったそう。

河村さんの「文章を書くこと」の原点はどこにあるのだろうか。

大学時代、広告研究会という会に所属し、その活動のなかで新聞社へ行くことが多かったんです。そこで記事を書くことになり、取材対象者の話を聞いていくなかで、誰かの話を聞き、そこからその人が持つ物語を掘り下げていくことに関心を得ました。自分が書いた原稿を記者の方に提出すると、原稿用紙が真っ赤になるくらい訂正が返ってくるんです。今から考えると、その方が自分で書き直した方が早いのでは? というほ

どに。けれど幾度も書き直しているうち、文章がブラッシュアップしてきた。同時に取材対象者の方が本当に伝えたかったことが表面に出てくる。人に話を聞き、その言葉を形にする仕事は面白いと思います。

私たちが生まれるよりも前の二十五年程前から「ダ・ヴィンチ」で書かれてきた河村さん。昨年十一月に逝去された瀬戸内寂聴さ

んへのインタビューはとりわけ印象に残っているという。

何を伺っても凄まじい気迫でお答えが返ってきました。誰かに話を伺うとき、「怖い」と感じたのは、あの時が初めてかもしれません。ちょうど瀬戸内先生が源氏物語の現代語訳を完成されたとき(一九九八年)、ダ・ヴィンチで「女の業」というテーマで特集を組んだ際のインタビューでした。「私、女の業」という言葉、大嫌いなよ」という言葉からは始まりました。「どんな言葉でしたら、お話しいただけますか?」と伺ったら、「女の性ね」とおっしゃられたときの表情は今も自分のなかに刻まれています。

編集者の方が同行するものの、基本的には一人で行うというインタビュー。常に緊張感を持ちながら行っているそう。

お話することに慣れていたらしゃらない方だと、なかなか言葉が出てこないこともある。一生懸命答えてくださったとしても、定型の言葉しか出てこないときは、その言葉を掘りさげていたり、なぜそう思われるのか、その理由やそれを表す具体的なエピソードを引きだすようにしています。インタビュは年間、百件くらいしていますが、定型の質問をしてしまうと、やはり定型の答えしか返ってこない。何十年の間、繰り返ししていても「慣れ」ないよう、緊張感を保つように心がけています。

どれだけ準備していても、その通りに進むことはまずないというインタビュ。取材相手の方に応じて臨機応変に質問をしないといけないのは、相手のことをよく知らないといけないこと。事前準備が本当に大切なのだと感じた。

書

き出すと芯が見えてくる

河村さんは、事前準備、インタビュ、書くという三段階に分かれている仕事の中でも、特に事前準備が重要だという。実際、どの

ように準備しているのだろうか。

事前準備では、自分の中にその方と話すための土壌を作らなくてはなりません。それをするために、作家さんへの新刊インタビュであれば、その本を最低二回、繰り返し読みます。一回目は純粋に読者として物語を楽しむ。そして二回目は取材者目線になつて読む。その作品で何を描きたいと思われたのか、人物像やこまかな描写のなかで何を表現したかったのかということを考えつつ、インタビュ記事を読む方たちにどうアプローチしていけばいいか、という視点で読んでいます。二回目は付箋を貼りながら、気になった言葉をどんどんノートに書き出していき、するとその言葉の羅列から、不思議とインタビュで伺うべきことが見えていくんです。



中高生の頃、暗記する時には、全部書き出していたという河村さん。面倒でも書き出していたのは、

手を動かすということと自分の体に入ってくるからだそうだ。

取材は人と人との対話。そこには相性もある。取材対象者と話が噛み合わず、うまく話が進展していかない苦労もあるそうだ。私達も普段、あまり話が弾まないと思う人に出会うことはあるだろう。インタビュをしていても同じことは起こるそうだ。

本当に相性というか。でも仕事なので、そこはうまく話を聞かないといけません。けれど「この方とは話がうまく運んでいかないな」と思った方も、次にお会いすると、嘘のように話が弾む場合もある。人って、その時々で、自身のコンディションにも左右される。そこもまた面白いなと感じています。

インタビュ記事は、誰かが読むことを目的としている。話を聞きながらレコーダーに録音したものをすべて文字に書き起こしたあと、それを記事にするため、河村さんはどんな作業をしているのだろうか。

最も悩むのは一行目です。雑誌の記事は大抵、見開き二ページで約三千文字。飽きることなく、最後まで読んでいただくために考えているのは、取材対象者の方からいただいた言葉を、単に書く、まとめる、ということではなく、一緒にいた時間の空気をどう伝えるか、ということ。いわば、記事のなかに「物語」を作ることなんです。その「物語」の入り口として、一行目は記事の世界観をつくるものになると考えています。新刊インタビュの場合、なぜ、この作品を書くかと思われたのか、執筆の出发点について伺うことが多いのですが、はじめに訊ねた質問から順番に原稿を書いていくことはまずありません。伺った内容はいったんすべて自分のなかに取りこむ。そのうえでどの要素を頭にもつてくるか考える。イメージ的には、セーターを解いた毛糸をいったん全部、箱の中に入れ、巻き取っていくべき正しい端つこの毛糸を取り出していき、という感じ。考えて、考えて……最初の一行目が出てくると、次に連なっていく、言葉がするすると出てくる。仕事で一番嬉しいのはその瞬間かもしれない。文章が走り出していくんですね。

諦めないことが、この仕事をやっていく上で必要だそう。取材相手との一期一会の仕事だからこそ、その一瞬一瞬を大切にしなければいけないそう。

その瞬間、今っていうことに集中、全集中！

取材相手が多岐にわたることから、自分が興味を持つことのみならず、広く関心を持つことが大切とのことだ。

雑誌のインタビューは、芸能人の方をはじめ、普段会うことのない方々が出てくるイメージがある。誰しも一度は、自分の推しに会ってインタビューできるなんて羨ましいなあと思ったことがあるだろう。実際のライターの方々も、推しに会いにいきたいという気持ちは変わらないようだ。

会いたい方がカブることはよくあって、「私が行きたい！」と、ライター同士で言うことはよくあります(笑)。「全部DVD持っているので私に(その取材させてください)」っていう熱意を見せる方もいらっしゃいますね。

芸能人の方は、インタビューで

きる時間もタイトなようだ。

俳優さんとタレントさんは大体三分ほど。短いときは十分という時もあります。

十分なんて、のんびり挨拶をしていたらそれだけで終わってしまふような時間だ。しかも、取材をするだけでなく撮影もしないといけないそう。あなたが何気なく読んでいる記事も、そのような環境で作られているかもしれない。短い時間で、インタビューする方の本音を引き出す。ライターさん方の凄さに驚かされた。



『FACES いじめをこえて』



KADOKAWA

NHKで放送された番組を書籍化した『FACES いじめをこえて』。世界中の「いじめサイバー」たちが語る二分間の動画には入り

きらなかったことを、文章にして取めた一冊を河村さんは執筆した。NHK撮影班の数時間にも及ぶ取材データから、新たに質問を考えて再取材をしたそう。ご本人が直接読者に語りかけるスタイル。一人称で書いたため、その方の心境になりきっての執筆作業はとても苦しく、食事ができなくなってしまうこともあったそう。

挫折を感じたり、立ち止まってしまった時に、自分が動いていけば変わってくるといふヒントがこの方たちの言葉のなかにあると思います。テーマは「いじめ」ですが、突破口を開きたいときにも有効な糧を見出すことができます。そして何より、人の心を想像することの大切さ、尊さについて考えることのできる一冊です。

河村さんおすすめの本

『千年の読書』三砂慶明、誠文堂新光社



葛屋大阪で本のコンシェルジュをしている著者による、多岐にわたる分野から本を紹介する本。人生を変えるような一冊に出会うためのヒントが欲しい人に。



2021・12・20撮影

GUESSES WHO!

-Our Teachers in The Youth-

2022

先生方の幼少期の写真と六つの質問の答えから現在の姿を想像してみてください。最後に答えが載っています。
さあ、あなたは何人分かるでしょうか？

質問

- ①今の自分と似ているところ
- ②趣味
- ③学生時代の部活・興味をもっていたこと
- ④最近興味関心があること
- ⑤なぜ先生になったのか
- ⑥愛読書、または最近読んだ本

A



- ①基本怠け者。家にいるのと漫画が好き。
- ②ビールに合う料理を作りながら、ビールを飲むこと。
- ③中高テニス部、大学はフットサルを友だちとたまにやっていた。
- ④新型コロナの影響（学校行事が

無事に行えるかどうか)

⑤将来を考えた時に漠然とサラリーマンが嫌で、その当時、塾や学校で良い先生に出会ったのが、先生を指すきつかけになりました。

⑥『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』ブレイディみかこ著。図書館で勧められハマり、今二巻を読んでいます。

『地雷を踏んだらサヨウナラ』一ノ瀬泰造著。みなさんもぜひこの本を読んで、アンコール・ワッツを訪れてみてください。

B



- ①せっかちなところ。
- ②読書
- ③小学校で児童会長、中学で生徒会長、高校では評議員会議長・生徒総会議長に明け暮れ、大学時代には、アジア学会というサークルでアジア各地に調査・研究旅行に行く仲間の送り出し、研

究誌の発行。幹事長で学生自治会との折衝にあたりました。

④ロシアのウクライナ侵攻

⑤未だによく分かりません。ある日、気がついたら教員になっていました。「二兎を追うものは三兎も四兎も追える」という気持ちでやってきました。

⑥「戦中と戦後の間」丸山眞男
「安曇野」白井吉見

C



- ①外見は変わり果てた……中身は真面目、昔から。
- ②ゴルフ・スポーツ観戦
- ③中学・大学はバレーボール部
高校は、そのユニホームが着たくて受験した。
大学でも体育会のクラブで四年間青春した。あと3cm背が高ければ、実業団で続いていたと思う。(スカウトされていたので笑)
- ④ゴルフ

⑤両親が教員で、母の勤務校にあらがれた先生がいた。本も書いていたので感銘を受けた。その先生のようになりたいと思った。⑥小説全般。家には三〇〇冊くらいの本が本棚にある。

D



①一人が好き。これと決めたら極めるところ。
②掃除・子供との外出・夜のひとり映画館
③中学・テニス・合唱 高校・美術設計 飛行機やガウディの図面・写真収集。
④いかに店の味に近づけることができるか。
⑤大学時代に受け持った不登校の生徒が、大学に受かって放った「学校で先生に会いたかったな……」という一言にキョトンときたから。
⑥漱石、芥川、太宰は学生時代に読破。流行は伊坂、東野、宮部。

印象深いのは『終末のフール』伊坂幸太郎著。漫画も好き。専門書よりは新聞・ジャーナル。

E



①興味を持ったことに、どっぷり浸かるところ。興味を持たないことには、とことん無関心であるところ。
②温泉、格闘技観戦
③柔道部。小二から道場に通いはじめ、中学のときだけ部活に所属。高校と大学は道場で練習していました。大学のときはボクシングとブラジリアン柔術も趣味程度に習っていました。
④散歩
⑤中学の担任が国語の先生で柔道部の顧問だったこともあり、その先生への憧れから教員を目指しはじめました。柔道では自分の方が強かったですが、偉大な方で、総合力では今なお遠く及びません。

⑥『息吹』テッド・チャン著

F



①学生時代から身長は小さく、背の順はずっと一番前でした。細かいことは気にならない、明るい性格な所と動物が好きなどころも変わっていないと思います。
②スキーをすること。冬になると、毎週末スキー場で練習しています。去年は新型コロナウイルスの影響で一回しか大会に出場することができませんでしたが、今年はいよいよ三回出場予定です。
③中学・茶道部 美味しい和菓子が食べられるので入部しました。高校・部活動には所属していませんが、クイズ研究会を友達と作り、高校生クイズに出場しました。
④犬猫の保護活動。衰弱した子猫を保護し、里親を探すボランティアを何度もしています。いっぱいになっている保護猫ハウスも多いため、このような活動を自分もしなければと思っています。
⑤私は高校生活がすごく楽しかったのですが、将来の夢がありませんでした。高校を卒業するとき担任の先生と「教育実習で戻ってくる」と約束し、大学の勉強を頑張りました。教育実習を経験し、先生になることを決意しました。
⑥『海を超える想像力―東京ディズニーリゾート誕生の物語』加賀見俊夫著 東京ディズニーシーにアクアスフィアという大きな地球儀がありますよね。なぜ地球儀があるのか、考えたことはありませんか？ パークに遊びに行く前には是非読んでほしい本です。

五等身甲冑半纏...D
五等身甲冑半纏...D
五等身甲冑半纏...D
五等身甲冑半纏...D
五等身甲冑半纏...D
五等身甲冑半纏...D
五等身甲冑半纏...D
五等身甲冑半纏...D
五等身甲冑半纏...D
五等身甲冑半纏...D

① 『算額タイムトンネル』

向井湘吾 講談社



神社で見つけた算額は、現在と過去をつなぐタイムトンネルだった。ふたつの時代を生きるふたりの天才が時空を超え、巻き起こるのは事件か、はたまた奇跡か？

② 『天久鷹央の推理カルテ』

知念実希人 新潮社



天才医師が事件に隠れた謎・疾患を爽快に暴いていく。

③ 『神酒クリニクで乾杯を』

知念実希人 KADOKAWA



才能豊かな医師達が自分達の能力を使い、事件を解決に導いていく。

④ 『高校事変』

松岡圭祐 KADOKAWA



戦場と化した高校で、史上最悪の犯罪者の娘はどう生き残る？

⑤ 『海と毒薬』

遠藤周作 講談社



人間の良心はどこから来るのか。これからの社会のあり方を考えさせられる。

⑥ 『白ゆき姫殺人事件』

湊かなえ 集英社



巻末についている新聞やSNSなどの資料を見ながら読み進める、臨場感のあるミステリー小説。

⑦ 『最果てアーケード』

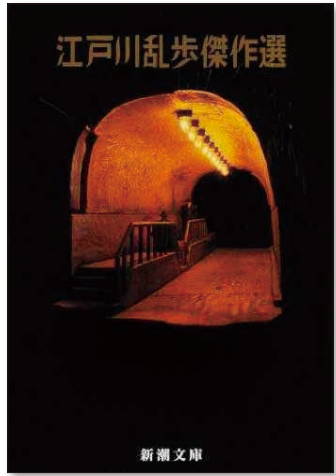
小川洋子 講談社



灰かに薄暗い、静かなアーケードをあなたも覗いてみませんか。

⑧ 『江戸川乱歩傑作選』

江戸川乱歩 新潮社



どろどろ不思議な江戸川乱歩の世界を、存分に楽しめる一冊。個人的には「人間椅子」が好き。



⑨ 『玄関の覗き穴から差しってくる光のように生まれたはずだ』

岡野大嗣・木下龍也



二人の歌人が描く短歌集。文字で遊ぶような構成のページがあり、言葉のみならず視覚からも楽しめる本。

⑩ 『総理の夫』

原田マハ 実業之日本社



ある日妻が史上初の女性総理大臣に任命された！ 襲いかかる出来事をどうのりこえていくのか？

なでしこ祭レポート



トトに会いにきて

2021年9月25、26日に行われたなでしこ祭。図書委員会では、POPコンテストや文豪クイズなどを企画しました。それらに加えてトトが主人公の「仕掛け絵本」を制作しました！



僕が活躍するよ!

トト (主人公だよ!)

ストーリー

小さな森に住んでいる、主人公のトトは、小さなクマ。ある日、空の上で「おひさまの誕生日会」が開かれることになりました。けれど、飛べないトトはお祝いに行けず、プレゼントをしようにも渡せるものがありません。トトは、おひさまに「お誕生日おめでとう」の言葉を届けるため、いろいろな方法で空をめざしますが……。

マニアがポイント!!!



↑ 制作メンバーがひとり1ページずつ担当し、みんなの力を集めて完成。

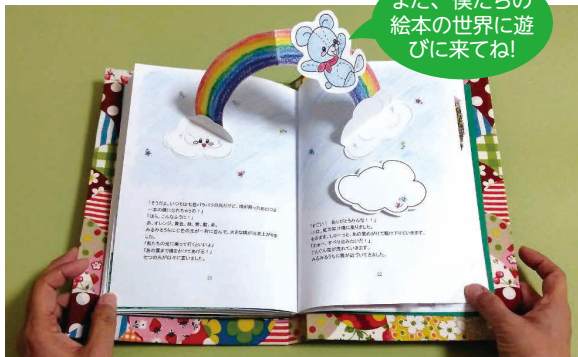
↓ ページは、立体的な仕掛けやコラージュなど、工夫がいっぱいです!



『トトとおひさまのたんじょうび』は、図書館に展示しています。ぜひ、トトたちに会いに来てくださいね。

図書館には、『くるみ割り人形』や『不思議の国のアリス』などの仕掛け絵本があります。貸出できないものもありますが、絵本の中から溢れ出る「世界」をあなたも体験してみてください!

また、僕たちの絵本の世界に遊びに来てね!



絵本『不思議の国のアリス』ロバート・サブダ 大日本絵画



『くるみ割り人形』ロクサヌ・マリー・ギャイエ 大日本絵画

よだれ本

美味しそうな和菓子や料理が作れるレシピブックから、よだれものの料理が出てくる小説までご紹介します。

絵本『からのすのパンやさん』のパンをつくらう！

(文化出版局)

おそらく皆さんが子どものころ読んだ絵本、『からのすのパンやさん』(かこさとし著)のレシピブックです。かめパン、ぶどうパンなど、登場するおいしくてかわいいパンをつくることができます。この絵本が好きな人はぜひためしてみてください。



「ケーキ王子の名推理 (スペシャリテ)」シリーズ

(新潮社)

ケーキが大好きすぎて彼氏に振られた女子高生、未羽。悲しみを癒やすべく訪れた自由が丘のケーキ屋で、冷酷王子と呼ばれているパティシエ志望の颯人と出会います。距離が縮まると思いきやなかなか縮まらない二人。そんな二人がケーキへの愛から小さな事件を解決していきます。スイーツ好き、青春ラブプロメ好きの方におすすめ。



レシピに頼らず料理は割合でおぼえましよう

(世界文化社)

皆さんが数学で学んだであろう「割合」を、料理でも活かすことができます！このレシピは、割合で失敗せず味付けを決められます。

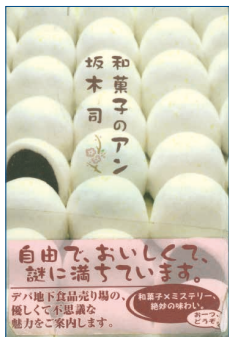
和、洋、中のレシピが掲載されていて、バリエーションも豊富。お弁当のおかずにもピッタリの一冊です。



「和菓子のアン」シリーズ

(光文社)

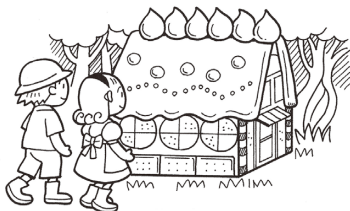
梅本杏子、通称アンちゃん、デパ地下の和菓子屋「みつ屋」で個性あふれる従業員らと一緒に働き始めます。和菓子とミステリーという組み合わせが面白い。読んでいくうちにお菓子のことも知ることができ、まさに食べたくなるような本です。



電子レンジで簡単！笑顔こぼれるデコ和菓子

(淡交社)

どこか敷居が高いと感じてしまう和菓子ですが、このレシピを使えば、体によいものが手軽に作れます。ひな祭りやこどもの日など、季節のイベントに合わせていかがでしょうか。



全人類に ススメたい!!

『風の谷のナウシカ編』

さて、今回から始まった新コーナー、「全人類にススメたい!!」このコーナーでは、図書委員が「全人類に読んでほしい!」と願ってやまない本への愛と情熱を語っていきます。記念すべき第一回は、漫画『風の谷のナウシカ』について。



風の谷のナウシカ © 1984 Studio Ghibli・日

映画とコミック

日本で知らない人はいないであろう、ジブリ。

そんなジブリ映画にも、原作があることを皆さんはご存じでしょうか。映画「魔女の宅急便」の原

作が、角野榮子作『魔女の宅急便』であることはよく知られています。が、他にも多くの作品が原作をもとにして作られているのです。今回は、私が全人類にお勧めしたい『風の谷のナウシカ』をご紹介します。

私が『風の谷のナウシカ』と出会ったのは、中学二年生の時でした。図書館にやつと通いなれてきた頃、目立たない奥の棚の漫画コーナーで一番下の段を偶然見たことがきっかけでした。そこにナウシカの漫画があったのです。一度もこの映画を見たことがなかったため、原作だけでも読んでおこうと手に取って以来、私は「ナウシカ」の奥深さのとりこになりました。下校の電車の中でも夢中になって読んでいました。気がつけば、借りて読むだけでは物足りず、今まで漫画は一切買ったことのなかった私が、全巻まとめ買いすると思うくらい切った行動に出ていました。自分のそばに置いておくために持っておきたい、と切に思ったのです。それだけの衝撃を受けたこ

とを、今でも鮮明に覚えています。



徳間書店

『風の谷のナウシカ』は、初のジブリ映画として、一九八四年に公開されました。原作となったのは、宮崎駿作『風の谷のナウシカ』。徳間書店出版のアニメ情報誌「アニメージュ」で一九八二年から一九九四年にわたって連載された漫画です。映画化されたのは、実は漫画の冒頭の一部のみ。すべてではありません。それどころか、ナウシカの魅力がたっぷり詰まった壮大な物語は映画化された後の部分から始まるといっても過言ではないのです。

物語のはじまりは

舞台は、大地の大半が人類にとって猛毒を吐き出す森、「腐海」に覆われた世界。はるか昔に起こった戦争と天災によって、文明は衰退

の一端をたどっていました。ある日、ナウシカの住む風の谷に、一機の飛行船が墜落。救出された一人の少女がナウシカに一つの石を託したことから、ナウシカはいろいろな荒波に巻き込まれていきます。ほんの小さな集落、風の谷族長の娘であり、谷を愛し、人々を愛し、自然を愛する一人の少女であったナウシカに課せられた使命とは何なのか。その使命を果たすために様々な経験をし、少しずつ世界の深淵にふれていくナウシカ。次々と明らかになる秘密とは？

「ナウシカ」が教えてくれること

「風の谷のナウシカ」の魅力は、何といってもその舞台となる世界観でしょう。作中に登場する国はいくつかありますが、どの国もそれぞれ個性的な文化や宗教、伝統を持っており、その違いがストーリーに影響を与えていて、とても興味深いです。一方で、これらの差異から起こった争いや、特定の民族への差別も日常的に起こって

います。そして、自然を支配したつもりになって、結局は自然の力には勝てず、人類が団結しなければならぬ局面で人類同士で争い、事態を悪化させる。この時の流れは、私たちの生きる現実世界の構造、多くの社会問題を浮き彫りにしていると思えてなりません。二〇二二年二月二十五日現在、今まさにロシアによるウクライナ侵攻が始まっています。私たちが、このまま自分とは異なる文化や言語を持つ人たちとわかり合おうとせず、地球の環境問題にも向き合わずにいては、「風の谷のナウシカ」と同じような道をたどることになるかもしれません。民族の繁栄を願ったつもりが、最後は自分で自分の首を絞める結果となるようなことが起こらないように、未来を担う私たちは何をすべきか、考えさせられます。

終わりに

この物語が教えてくれるのは、国家や民族といった大きな枠組みだけではありません。ナウシカの

ような特別な人間ではなく、毒を放出する腐海に苛まれ、腐海に住む異形の蟲を恐れ、戦争で悲惨な目に遭う大勢の「名もなき人々」を鮮明に描き出すことで、国家が争いを続ける中でも、人々の暮らしは変わらずに流れ続けることや、恐怖の中でも懸命に生きようとする人間の強さが伝わってくるのではないのでしょうか。また、いろいろな立場の人間が語ることで、多様な考えを持った人がいること、短絡的な解決はできないこと、違いを受け入れ、歩み寄る姿勢がいかに大切かを、自分のこととして考えることができるでしょう。世界の中の一人として自分の人生をどう生きるのか、見つめなおすきっかけにもなる作品です。

現在はコミックスとなって徳間書店から出版されています。七巻セットでなんと三三三〇円(税抜)！図書館にも置いてありますので、少しでも興味を持たれた方はぜひ手に取ってみてください。新たな視点がきつと見つかるはずですよ。

P10のポスターの出典
<https://www.ghibli.jp/works/nausicaa/>
 スタジオジブリ「風の谷のナウシカ」
 (2022年2月22日アクセス)



宮崎駿さんが読んできた本がわかります。

原作があるジブリ映画

・「魔女の宅急便」

原作『魔女の宅急便』角野栄子著
 魔女修行中の少女、キキの成長を描く物語。全六巻のうち第一巻が映画化。



福音館書店

・「ハウルの動く城」

原作『魔法使いハウルと火の悪魔』ダイアナ・ウイン・ジョーンズ著
 三部作のうち第一作目が映画化。設定がかなり異なっているため、原作も必見。



徳間書店

・「紅の豚」

原作『飛行艇時代』宮崎駿著
 ショート漫画を元に、ほとんどオリジナルのストーリーで映画化。



大日本絵画

文芸部コラボ企画 小説の書き方千講座

第一章

『小説を書いてみたい！』
そんなあなたに！

「小説なんて書いたことない」興味はあるけど、正直どうやって書いたらいいのか……というあなたへ。小説の基本的な書き方を教えてくれる本をまとめてみました。

『物語』のつくり方入門 7つのレッスン
円山夢久 雷鳥社 2018)



自分オリジナルの題材の見つけ方、世界観やキャラクターのつくり方をゼロから優しく教えてくれるHOW-TO本。色んな例が出てきて面白く分かりやすく読めます。

この本の内容をもっと詳しく解

読んでいる続編も出ているので、チェックしてみてください！



『物語』の組み立て方入門 5つのテンプレート (円山夢久 雷鳥社 2019)



『物語』の魅せ方入門 9つのレシピ (円山夢久 雷鳥社 2018)

マナーはいらない 小説の書きかた講座 (三浦しをん 集英社 2020)



『舟を編む』『風が強く吹いている

る」などで有名な三浦しをんさんが、小説の書き方について語ります。題名のとおり、創作を料理のコースに例えてユーモアたっぷり紹介しています。

めんどくさがりなきみのための文章教室 (はやみねかおる 飛鳥新社 2020)



小説だけでなく、作文やレポートまでカバーしてくれる一冊。ぼっちや猫と少年が、文章のあれこれをゆる〜く教えてくれます。

第二章

あの文豪は、あの偉人は、
こんな名言を残していた！

ここでは、文豪や有名な作家たちがどのように小説を書いていたのか、数々の『名言』を独断と偏見によるランキング形式で紹介いたします。

*第一位

小説というものは、迷っている人間が書いて、迷っている人間に読んでもらうものなのです。(司馬遼太郎)

*第二位

小説を書く、物語を書く、というのは煎じ詰めて言えば、「経験していないことの記憶をたどる」という作業なんです。(村上春樹)

*第三位

これだけは、いい得る。生きていくことへの感謝の念でいっぱい
の小説こそ、不滅のものを持っている。(太宰治)

*第四位

世界中の優れた小説や戯曲を読むべきだ。それらがなぜ「名作」と呼ばれるのか、考えてみる必要がある。(黒澤明)

(HP 「世界偉人名言集」より)

第三章

文芸部員にインタビュー!!

「普段どうやって書いているの?」

今回は文芸部とのコラボ企画ということで、文芸部なりの「創作観」をまとめてみました。

Q1 小説を書く題材はどのように決めていますか?

- ◆友だちに、適当に言ってもらった単語をテーマにしています。
- ◆なんとなく通学路にあったものを題材にしています。
- ◆バレンタインのチョコを作っているときにはバレンタインの話が書きたくなったり、世界史の授業を聞いたから中世の話が書きたくなったりします。

みんな、自分の周りから題材を見つけているのね



Q2 小説を書くときのアイデアはどこから?

◆ずーっと考えていると、ある瞬間に閃きます。

◆日常生活の中でふっと降りてきます。

アイデアって本当に『降ってくる』ものなんだ……



Q3 書くときの工夫、こだわりってありますか?

- ◆ありきたりな展開にならないようにこだわっています。
- ◆スマホのメモアプリにアイデアをためています。
- ◆こだわりは、張った伏線はちゃんと回収すること!

アイデアを集めたり構成を練ったりするのも、大切な創作活動!!



Q4 長編と短編、どっちを書くのが好きですか?

- 長編派
 - ◆書きたいことが多いからです。
 - ◆世界観やキャラクター、ストーリーに厚みを出せるから。
- 短編派
 - ◆色々なタイプのお話を書く練習になるから。

◆一気に書き上げたいタイプなので、短編のほうが相性がいいです。

◆キャラやストーリーにくくりを作らず、特定のものだけを中心に書けるから。

長編と短編、それぞれに面白さがあるのだね!



Q5 書く前や書いている途中、資料を調べたり調査に行ったりすることはありますか?

- ◆世界観や時代背景を考えているものは図書館やインターネットで調べます。
- ◆描写についてわからないことがあったら調べるようにしています。

現地に行けば創作欲もアップするよね!



Q6 創作の参考になっているものや、リスペクトしている作家さんなどを教えてください!

◆今まで読んだ本の中で、「この展開が好きだった!」とか「このミスリードには騙されたなあ」みたいなものがあると、「私もこういうトリック使ってみよう……!」となります。

好きな作家さんに憧れて、創作の参考になっている部員もいたわ



~	あ	な	た	も															
は	じ	め	の	1	歩	を													
踏	み	出	し	て	み	て	は	?	~										

不思議の国の ルイス・キャロル

A♥
♥A

ルイス・キャロルという作家をご存じですか。少なくとも、彼の最も有名な著作については、きっとほとんどの人がご存じのはずです。彼は、イギリスを代表する児童文学のひとつ、『不思議の国のアリス』の原作者です。これから、ルイス・キャロルと彼の著作について、少しでもご説明します。



ルイス・キャロルとアリス・リデル

ルイス・キャロルは、1832年に、イングランド北部のチェシャー州にある、ダズズベリーという小さな村で生まれました。ルイス・キャロルというのはペンネームで、本名をチャールズ・ラトウィツジ・ドジソンといいます。

キャロルが五歳になった1837年、イギリスではヴィクトリア女王が即位し、ヴィクトリア朝時代と呼ばれる長い時代が始まりました。

キャロルは幼少期から数学と古典に非凡な才能を見せ、パブリックスクール（イギリスの全寮制男子校のこと）のラグビー校を卒業したのち、オックスフォード大学のクライストチャーチ学寮に入學しました。卒業後は数学教師として、同地で教鞭を執り始めました。キャロルの教師生活が始まった1855年、クライストチャーチの学寮長に、ヘンリー・ジョージ・リデルという紳士が就任し、彼は家族とともにこの地にやって来ました。その頃リデル家には四人の

子供がいました。長男のハリーと、ロリーナ、アリス、イーデイスの三姉妹です。

キャロルは三姉妹、特に次女のアリスと親しくなり、休日と共に過ごすようになります。彼らは「金色の午後」を過ごし、1862年7月4日のピクニック中に、キャロルはアリスを主人公に、とある物語を作り、姉妹に語って聞かせました。その物語こそが、『地下の国のアリス』。あの『不思議の国のアリス』の原型です。

不思議の国の登場人物

アリス・リデル以外にも、『不思議の国のアリス』には、キャロルの周りの人物が登場しています。

「Drink Me」の小瓶の中身を飲んで体の大きさが変化した結果、「涙の池」に落ちてびしょ濡れになってしまったアリスは、体を乾かすため、鳥たちと共に「コーカスリース」に参加します。その参加者の鳥たちには、インコ（ロリー）はアリスの姉のロリーナ、小鷲（イーグレット）は妹のイー

デイス、そしてドードー鳥はキャロル（ドジソン）自身が表されています。

この他にも、キャロルの同僚やリデル家の家庭教師などが様々な動物の姿で物語に登場しています。



キャロルのかばん語

キャロルの創作には、しばしば彼独自の造語が登場します。それらは、二つ以上の英単語を組み合わせたものが多く、「混成語」もしくは「かばん語」と呼ばれます。例えば、『鏡の国のアリス』の作中詩『ジャバウォックの詩』に「弱ぼろしい (Mimsy)」という形容詞が出てきますが、これは「弱々しい (limsy)」と「みすぼろしい (miserable)」の混成語です。

【参考】『不思議の国のアリスの誕生』ステファニー・ラヴェット・ストッフル著、創元社・『スナーク狩り』ルイス・キャロル著、集英社

同じく『鏡の国のアリス』に登場する、両の翅がパンで出来ている奇妙な蝶「バター付きパン蝶(Bread and Butterfly)」は、「バター付きパン(bread and butter)」と「蝶(butterfly)」の混成語です。



キャロルとマザーグース

アリスの物語をはじめ、キャロルの作品には、マザーグースから多くの引用が見られます。マザーグースとは、イギリスに古くから伝わる伝承や童謡の総称です。

例えば、『不思議の国のアリス』に登場する「ハートの女王のタルトを盗んだトランプ兵」には元

になった詩があり、『鏡の国のアリス』に登場する「ハンブプティダンブティ」や「トゥイドルダムとトゥイドルディー」は、まったく同じ名前の詩が古くから存在します。まるっきりナンセンスな世界にも元ネタがあるというわけです。

キャロルのナンセンス文学

さて、ここまではみなさんご存じのアリスの物語を中心にキャロルの世界についてご説明しましたが、ここではアリス以外の作品について少しだけお話ししましょう。

今回ご紹介したいのは、『スナーク狩り』という長編詩です。詩ではありますが、全八章で出来ており、物語の体を成しています。あらずじとしては、九人と一匹でなる奇妙な一行が、「スナーク」と呼ばれる謎の怪物を捕まえることを目指して旅をする、というもの。

『スナーク狩り』の魅力は、端的に言えば「言っていることが何一つ理解できない」ことです。作中では「スナーク」の生態についていくつかの説明がなされています。

例えば、「まずは第一にその味はすかすかうつろだがパリツとしてる。胴回りが窮屈すぎる燕尾服っぽくて鬼火の香りがしてる」というもの。「スナーク」が一体どういう生き物なのか全く見えてこない素晴らしい表現です。

『スナーク狩り』では、このような意味の分からない(意味がないようにも見える)文章が延々と書かれています。『スナーク狩り』を読むと、アリスの物語はまだ整合性のとれたお話だったのだと私は思います。

なぜこの「意味の分からない」が魅力となりえるのか。それはキャロルの才能としか言いようがありません。意味を理解しようとしても面白い物語なのです。もちろん、理解しようと頑張ってみても楽しめます。

『スナーク狩り』の解釈については専門家の中でも大いに議論が交わされています。

個人的には、キャロルは、彼のナンセンス文学を通して、私たち読者に新しい物語の読み方、楽し

み方を模索する奥深さを教えてくれているのではないかと感じます。そしてこのように、彼自身の意図を推察することの楽しさも。因みに、『スナーク狩り』は今年度新しく購入したばかりの本が図書館にあるので、ぜひ一度ご覧になってみてください。

不思議の国への招待

このように、キャロルの作品は、その成立背景や細かい仕掛けを知っていくと、新たな発見や意外性、考察のしがいがい沢山あります。物語の裏側を覗き見る楽しさは無限大です。

皆さんもぜひ、不思議の国の裏側に通じる扉の鍵を探してみてください。



激推し本!

『ぼくのメジャースプーン』

辻村深月 講談社



明るく活発でうさぎが大好きなふみちゃん

と少しだけ特別な力を持つている僕。ある日学校のうさぎ達が殺され、そのショックでふみちゃんは喋らなくなってしまう。反省の色を示さない犯人に、ぼくは力を使って何ができるのか。ふみちゃんはどうしたらまた話してくれるようになるのか。読後、原作者の『名前探しの放課後』を読むのがおすすめ。

『あきない世傳 金と銀 源流篇』

高田郁 角川春樹事務所



学者の父によって「商は詐なり」と言われて育った幸は、

飢饉などで父と兄を失い、呉服商に奉公に行くことになる。女衆として働くうちに、どんどん商売に惹かれていく。柔軟な発想で新しい風を吹かしていく幸だが、時代は男社会。幸はどうなっていくのか、期待のシリーズ第一作。

理系による数学に興味を持つ本

『青の数学』

王城夕紀 新潮社



雪の日に天才数学少女と出会った栢山。ライバル達と

出会い、競うことであたらしい世界を知っていく。孤独な数学の世界で少年少女は何を考えるのか。ちょっと数学が好きになれる青春物語。出てくる数学は難しいものばかりだが、高校生になると授業等で出てきた定理などに会うことがあり、感動する。

『はじめアルゴリズム』

三原和人 講談社



類まれなる才能を持ち一人で数学と楽しんでいた

はじめは、数学者、内田豊との出会いによって新しい世界へといざなわれる。他の天才数学少年たちとの出会いによってさらに数学にのめり込んでいくはじめの成長物語。

図書館今日のごろ

2021年

9月

なでしこ祭(ガラス装飾・仕掛け絵本作・文豪クイズ・POP総選挙・本診断)



12月

豆本・クリスマススワッグ制作体験

2022年

1月

映画「わたしは、ダニエルブレイク」の鑑賞会

2月

古本市を実施
総売上金額五七七七円

本を寄付してくださった方、買ってくださいました方、ありがとうございました。全額ブックサンタへ寄付。

3月

今年度二号目の「読書の葉」を發行

編集後記

今年度二号目となる「読書の葉」を楽しんで読んでもらえていたら嬉しいです。ご時世柄外に取材に行くことは難しかったのですが、工夫して制作しました。今回、初めてライターの方へのインタビューが実現しました。河村さんは、私が記事に起こした後に添削もしてくださいました。おかげで、本格的な文章を作れたのではないかと思います。本当にありがとうございます。

今年度の図書委員会の活動も、これで終わりになります。一年間ありがとうございました。来年度もよろしく願います。



ブックサンタとは